

(株)宮川建設 環境行動計画

平成 25 年 6 月 7 日

取 組 方 針

株式会社 宮川建設は、当社の経営理念である「一、当社の存在価値 豊かな居住空間を創造することです。 二、社長の経営理念 顧客からの信頼なくして会社の発展はない。 三、社員の行動基準 相手の立場になってモノを考える。」をモットーに顧客ニーズにあった建設工事業をしています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負担を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 25 年 6 月 7 日

株式会社 宮川建設

代表取締役社長 宮川 惣 輔

3 環境負荷の低減目標

27年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも24年です。）

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を1%削減する



【目標2】 産業廃棄物の排出量を1%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を1%削減する



【目標4】 水使用量を1%削減する



【目標5】 電力用量を1%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

（現場部門での取組）

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ 車両のアイドリングストップを徹底し、点検を定期的に行う。
- ・ 現場移動の際は、できうる限り乗り合わせを実施する
- ・ 資材運搬計画を策定し効率化をはかる
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

（事務所での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時28度、暖房時20度）に設定する
- ・ エアコンを使用するときはサーキュレーター等を併用し空気を循環させる
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用し、休日前にはコンセントを抜いておく
- ・ 事務室に於いて、天気の良い晴れた日には、窓側照明の間引きをする

【取組 2】 産業廃棄物適正化と排出量の削減

(産業廃棄物)

- 産業廃棄物の分別・回収・リサイクルの検討
- 解体・製造工程から発生する金属くず・アルミはリサイクルする。
- 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する

(一般産業廃棄物)

- ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努める
- 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- カートリッジ・詰め替え可能な製品を、優先的に使用する
- 製品はできうる限り長期使用する

【取組 3】 コピー用紙使用量の削減

- 両面印刷、両面コピーを徹底する
- 使用済用紙の裏面を利用する。
- 書類・資料の電子データ化を進め持ち回りに努める
- 事業活動の案内チラシは、適正な部数を作成・配布する

【取組 4】 水使用量の削減

- 配管からの漏水が無いことの確認
- 水道蛇口の前に節水を呼びかける印を貼る
- 雨水・川水の利用を心がける
- 車・機材の洗車料時には、水を出しっぱなしにしない

【取組 5】 電力使用量の削減

- 空調温度は適温に調整する
- 昼休み・人のいない時の消灯を徹底する
- 空調機や照明器具などの点検・整備を行う
- OA機器の節電機能を活用する

【取組 6】 その他の取組

- 社員による器具の点検・現場進行状況の確認を行い、5Sを実施
- 材料・工具は、決められた場所に返却し整理整頓を徹底する
- 社員間の‘報告・連絡・相談’をまわす

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半年ごとに取り込み目標の進捗状況と具体的な取り組みの実施状況をチェックします。